No.603
2024.12.16

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th

岐阜県金属工業団地協同組合

金山神社祭礼と金山奉賛会総会

11月12日（火）に金山神社祭礼が伊奈波神社境内の金山神社にて斎行されました。各所の金属関係の会社や組織が参加し、事業繁栄と身体健康をお祈りいたしました。金属団地からも会員が参加し、金属団地を代表し鈴木理事長が玉串奉奠をされました。祭礼では神楽に合わせ巫女舞も行われ、神楽が境内そして金華山にも響き、厳かな雰囲気の中、身も心も清め祓われ、清々しい気持ちでお祈りすることが出来ました。祭礼後は奉賛会総会と懇親会が行われました。

この金山神社の御祭神は金山彦命（かなやまひこのみこと）という鉱山や治金を司る神様です。治金を司るという事であれば、我が金属団地の組合員の方々にはたいへん関係の深い神様ということになります。この金山祭、別名を鞴（ふいご）祭りと呼びます。ふいごとは御存知のように金属の加工、精錬の際に燃焼を促進するための空気を送る器具です。この金属団地ニュースでも創刊以来？コラムページの呼び名として「ふいご」と呼んでいます。という事は増々我々金属団地とは縁が深い祭礼ということになります。

そしてなんと！この金山彦命の本宮は、この金属団地が在る美濃国の一宮である南宮大社なのです。つまり日本全国の鉱山や治金を司る神様の総本山？がこの美濃の国の南宮大社なのです。

さてここまでで、おや？と思われた方も見えるかもしれません。本来金山祭は11月8日なのに何故今年は12日だったのだろうと。その理由は参加者数を維持するための大人の事情があったと聞いています。私は参加し始めて2年目ですが、年々参加者が減っていると聞きます。金属団地からの参加者も組合員数の割には驚くほど少ないです。暦は太陽の動きにより、細かく正確に決められています。神事もそれに連動しており、暦通りに行われるものです。何故昔から金山祭が11月8日なのかは分かりませんが、暦には重要な意味があるものだと思います。しかしなによりもまず、金属に携わる我々がこのような神事を軽んじることなく、大切に護っていくということが必要だと感じました。

ぜひ、来年は組合員（奉賛会会員）の皆様に多くの御参加を頂きたいとお願いいたします。

さてさて、ここまでで、あっ！と思われた組合員の方がおそらく大変多く見えると思います。もし気付かれていない方は組合からの御案内メールを今一度御確認頂きたい。あれです、アレ！

くしくも11月8日のメール「南宮大社初詣・神事並びに新年互礼会のご案内」です。

年初にも本誌にてたいへん申し上げにくいことを申し上げました。御神札（おふだ）はあくまで祭る当人が神社まで足を運び、自分で頒布していただいて自分の手で神棚にお祭りしないと意味がない（※私見です）、それは金山祭の御神札も、来年1月に組合員にお配りするものも同じです。

組合員の皆々様、せっかくこんなに近い所に、我々の仕事に非常に関係の深い神様の本宮が在るのですから、ぜひぜひ初詣に御参加いただきたいです。そして祓い清められた身で新年互礼会へと参ろうではありませんか。

注意：御神札の御利益については諸説あります。

令和６年度組合員親睦旅行開催

今年の組合員親睦旅行は11月16日（土）～17日（日）1泊2日の日程で兵庫県の姫路と淡路島・徳島の鳴門へ17名で行ってまいりました。2日目は観光組とゴルフ組に分かれておりますのでラウンドの様子もあわせてご拝読ください。

さて、組合に7時40分に集合し一路バスで姫路へ。車内では下村総務委員長に今回の旅行の趣旨についてご説明いただきご挨拶をしていただきました。ガイドさんの話に耳を傾け、高速道で途中休憩を挟みながら走る事約４時間、姫路市内にある灘菊酒造が運営する酒蔵で昼食をとります。麹や酒粕といった発酵食品と地元食材を使って市内で4店舗を運営しているようで、私たちは元祖綿菓子牛鍋コースを堪能し美味しいお酒と共に至福のひと時を過ごしました。敷地内には蔵の歴史や酒造りを学べる見学コースがあり、直売所では試飲もできました。現在の代表は杜氏も務め、社員一丸となって伝統的な手作りの酒造りを守りつつ時代に合わせて事業の幅を広げているようです。

降ったり止んだりの天気も傘なしでは過ごせない状況となり、道すがらコンビニで傘を購入されるかたもおみえになりました。生憎の雨となりましたが目に飛び込んできたのは堂々とそびえ立つ国宝姫路城。白い鷺が舞い立つように見えることから白鷺城という愛称でも知られています。内部の造りは地上6階・地下1階の7階構造になっており、それぞれ見所がありましたが、海外からの観光客も非常に多く、天守閣へ向かうルートは大渋滞、薄暗さも相まって一苦労でした。階段はかなり急で、登るも降りるも年配の方や小さなお子さん連れは大変そうでした。最上階からは姫路市内が一望でき、天気が良ければもっと素晴らしい景色が広がっていたのではないでしょうか。歴史を存分に感じながらお土産片手に名城を後にしました。

今回の宿泊先はCMでもお馴染みのホテルニューアワジ（別亭夢泉景）。温泉に浸かり旅の疲れを癒し、宴会では親睦を深め、歌声を響かせ、久しぶりの相部屋で眠れぬ夜を過ごし、昔ながらの団体旅行の雰囲気を味わっていただきました。

■ 2日目

ゴルフ組

今日は6時に起床。ホテルの海が見える露天風呂で日の出を見ながら体をほぐし、朝食を摂ったら8:35にジャンボタクシー 2台でゴルフ場へと向かいました。「淡路オアシスハイウェイ」に寄り道しつつ1時間ほどの行程でした。ここ、六甲国際ゴルフ倶楽部は「宮里藍 サントリーレディースオープン」で有名で東西36ホールあります。今回は西コースを回りましたが自然の地形を生かした戦略的なコース設計で、砲台グリーンとガードバンカーや池には泣かされる事となります。

10:27から3組12名でのラウンドでしたが、前半戦は3位から10位までは5打差程度の大接戦です。皆さんミスを最小限に抑え本当に叩きません。

昼食時は後半戦に向けて大いに盛り上がりました…別な意味で…。何と後半スタートが14:12分です。前が詰まっていましたがここまで遅れるとは大誤算！バスが16:30にお迎え予定ですが間に合うわけもありません。観光組に連絡し頑張ってプレーするも限度があります。

スコアは順調に差がつき始め、不安定な雲行きで16番ホール辺りからは日没間際で玉も見えなくなってきました。終わってみれば普段通りの結果となり、優勝は鳥山仁さん（39-37=76）。ベスグロ、ニアピン、バーディー、その他もろもろ（笑）の総取りです。二位はダブルペリアでHDCP32をたた

き出した林宏守さん（53-49=102）、三位は安定したスコアの鈴木純一理事長（45-44=89）の結果となりました。ホールアウト時点で17:00を回っており、お風呂も入らず17:30に観光組のお迎えバスに飛び乗りゴルフ場を後にしました。

観光組

ゴルフ組も観光組も一緒に朝食をとり各自準備をして9時に観光組5人をのせた大型バスは出発。9時40分頃淡路島の西南に位置する、うずの丘 大鳴門橋（おおなるときょう）記念館に到着し巨大たまねぎのオブジェをバックに記念撮影。ここはレストラン、お土産ショップ、大人も子どもも楽しめる科学館など淡路島の魅力が玉ねぎの甘みのようにぎゅぎゅっとつまった複合施設です。ここで少し休憩をとり、大鳴門橋遊歩道「渦の道」へ向かいました。この遊歩道はエントランスから展望室まで450m、壁面は金網で海風が吹き込み、床が所々ガラス窓になっています。真下を覗くと鳴門海峡の激しい潮流が広がり、足を乗せればスリルを体験できます。展望室へたどり着くと太平洋や瀬戸内海を見渡せる開放感に満ち溢れた風景で非常に見ごたえがありました。

この日の昼食は徳島市北灘漁協とれたて食堂へ。新鮮な魚介類を使ったメニューが多くあり、各々で好きなものを注文して舌鼓を打ちました。観光組を乗せたバスは淡路島に戻りうずしおクルーズを堪能。この日の時間帯は大潮ということもあり自然が織り成す圧倒的迫力に息をのみました。

ゴルフ組が遅れるとの連絡をうけ、2022年に開業した体験型食のテーマパーク「 道の駅くるくるなると」へ。車が駐車場に入りきれないほどの大盛況っぷりで中に入っても人だらけ。とてもお土産選びに集中できる状況ではありませんでした。活気にあふれた道の駅を最後にすべての行程を終えた観光組はゴルフ場へとバスを向かわせました。

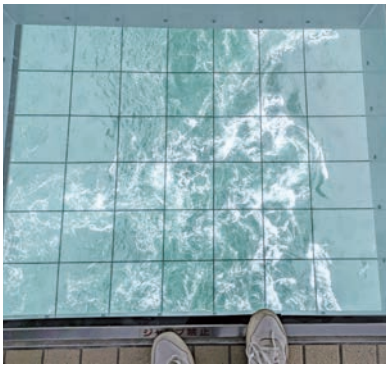
ゴルフのタイムスケジュールや交通渋滞に巻き込まれてしまったことで、組合到着が予定よりも1時間も遅い21時になってしまい、ご不便とご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

参加者の皆様には観光地巡りとゴルフ、温泉、宴会を楽しんでいただき思い出深いひとときになったのではないでしょうか。来年度の旅行は今回の反省点を踏まえ、充実した内容となるよう企画を進めてまいりますので、ご参加いただけなかった方も次回は是非ご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

最後となりますが下村総務委員長には多方面でご尽力いただき誠に感謝申し上げます。

Photograph 11/16

Photograph 11/17



Photograph etc.

臨時総会開催

11月18日（月）12時15分より組合研修センター3階の集会室において、臨時総会が開催されました。鈴木理事長の挨拶に続き、林事務局長より総会出席者数が総会有効定数に達したとの報告がされ、議長選出により鈴木理事長が議長に就いた後、議案の審議に入りました。議案については順次上程された第1号議案から第3号議案まですべて承認可決されました。

・第 1 号議案　令和6年度賦課金徴収中止（案）承認の件
・第 2 号議案　役員選挙規約の一部改正（案）承認の件
・第 3 号議案　新規規約 組合に対する組合員の届出に関する規約（案）承認の件

油流出時訓練

11月13日（水）正午から環境委員会と青年部合同で油流出時訓練を実施しました。

山村副委員長の挨拶の後、油流出時訓練に移りました。木材を利用してオイルフェンスを張り、流出油を回収するものと、表面の流出油をオイルプロッタで回収する訓練をし、油流出時の対応について確認しました。

環境問題への意識が年々高まりますが各企業におきましては日頃の油類の管理を徹底しましょう。

青年部コーナー

反省会開催

岐阜市問屋町の寝静まったシャッター街を歩くとポツンと光る割烹料理店「一貫」でイオン出展の反省会を開催しました。

出展後からなかなか都合が合わず一カ月以上先送りとなり、11月7日に全員参加でこの日を迎えることができました。落ち着いた店内では料理も一品一品丁寧に作られており魚も鮮度がよく日本酒もこだわりを感じ、食通？の青年部を唸らせるもので大変美味しく頂くことができました。鋭気を養い結束を高めたところで、気持ちも新たに邁進いたします。

三井川周辺のゴミ拾い

環境委員会との合同油流出訓練後に青年部は毎年恒例となっております、三井川周辺のゴミ拾いを実施しました。

例年に比べごみの量が少なくなりましたが、空き缶、タバコの吸い殻や容器類など多様なごみを拾いました。自分で出したゴミは自分で処分する。一人一人がモラルを高め、環境美化に関心を持ちましょう。

合同ゴルフ開催

11月23日（土）、関ケ原カントリークラブにて団地ゴルフ会と青年部の合同ゴルフが開催され、青年部からは8名が参加し総勢14名で名門コースを楽しみました。

肌寒い中でのプレーでしたがフェアウェイが広いコースでは気持ちよくドライバーを振れたのではないでしょうか。青年部の結果ですが、共和鋳造所の鳥山創さん（102）が見事優勝を飾りました。おめでとうございます。今回のコンペで人生初ラウンドとなった横山くん（157）も同組のやさしい先輩たちに指導してもらい18ホールを完走していました。みなさんお疲れ様でした。

疑うこと　vol.2

去る11月16～17日は団地組合旅行で姫路-淡路の兵庫県を訪問した。兵庫県知事選挙当日の事である。バスガイドさんによると前日の15日は姫路に斎藤元知事が演説に来ていたそうで凄い群衆だったそうだ。正直、岐阜県民としてはこの選挙に興味は無く「元知事の惨敗かなぁ？」程度の認識であったのは猛省したい…。自宅に帰ってきたのは21:15分頃であったがTVを点けると斎藤知事当選の速報が流れている、ゼロ打ち当確だ！メディアの印象操作にしてやられていた。「Mr.サンデー」では宮根誠司が「大手メディアの敗北」「お詫び」のコメントを出していたが、よくこれ放送出来るなぁ…と笑った。

兵庫県で一体何が起きた？翌日からは「メディアがネットに負けた」とか「SNSの勝利」だとか感想や分析の嵐が吹き荒れたが違和感はぬぐえない。いつからメディアとネットが戦っていたかは知らないが、デマで知事を辞職させた事を許せないと思った兵庫県民が沢山いたのは事実である。あれから一週間程度過ぎたがニュース番組等でコメンテーター達の歯切れが悪くなったのを肌で感じている。メディアは反省する事無くネットに負けていることを認めたくないがゆえ印象操作を続けている…そろそろSNSに賛成する人も同時に番組で使うべきでしょう。

さて、国民民主党の躍進で最近話題の103万円の壁撤廃による「減税による現役世代の手取り増」の議論。裏で悪乗りした厚労省の106万円の壁撤廃の方が先に決まるんじゃないかと心配している。「パートの社会保険料、会社が肩代わり」なんて案も出ているが、もともと社会保険料の会社負担分なんてあり得ない。ギャグか？人件費総額から社会保険料を引いた残りを給料で分配しているだけなので実質は労働者本人の負担である。給料明細で天引き額が多すぎると見栄えが悪いので（国に）隠されているだけだ。過去20年程に亘って手取りが全然増えないのはこのせいで、企業側は人件費総額を必死に上げてきたが社会保険料負担で帳消しにされた。デフレ時代は物価も低く目立たなかったが、昨今のインフレ局面下で保険料負担が増えれば全然賃上げされない会社が続出する事だろう。乱暴な計算だが時給1000円のパート仕事の場合、18%ずつ（合計36%）の労使折半なので1360円の時給換算にしないと手取りは1000円よりも低くなる。廃業する事業所やブラック化する職場も増えるんじゃないか。まあ、いままで消費税以外はそれほど税金を払ってこなかった層が対象の増税に（保険料だから厳密には税金ではない）なるが、料率だけ見れば10%の消費税が可愛く見える！家計は火の車と化し、社会保険料のあまりの高さにサラリーマン以外の労働者も気付くようになり、「消費税増税の方がましだ…」という論調になるのも直ぐそこまできているのかもしれない。103万円の壁ではメディアはこぞって7～ 8兆円の減税となり地方財政に深刻な影響を与えると反対の論陣をはっているが、106万円の壁の方はまともに報道している熱量を感じられない…SNSでは真逆なんですがね。

コロナワクチン、ウクライナ戦争、都知事選挙、自民党総裁選、アメリカ大統領選挙…等々、近年メディアの偏向報道には辟易としてきました。SNSは真偽不明な情報が飛び交ってはいますが多数の真実も隠れています。SNSはツールの一つにすぎません。メディアもネットも俯瞰で見る目を持たないと大変危険です。金属団地ニュースもメディアの一つであるので責任を持った発信を心掛けたいものです。えっ？この記事の真偽は？皆さん自分でお調べになって評価して下さい！組合事務所の前に大群衆が集まる事を期待しています（笑）

よく見ておくのだな。実戦というのは、ドラマのように格好の良いものではない

赤い彗星

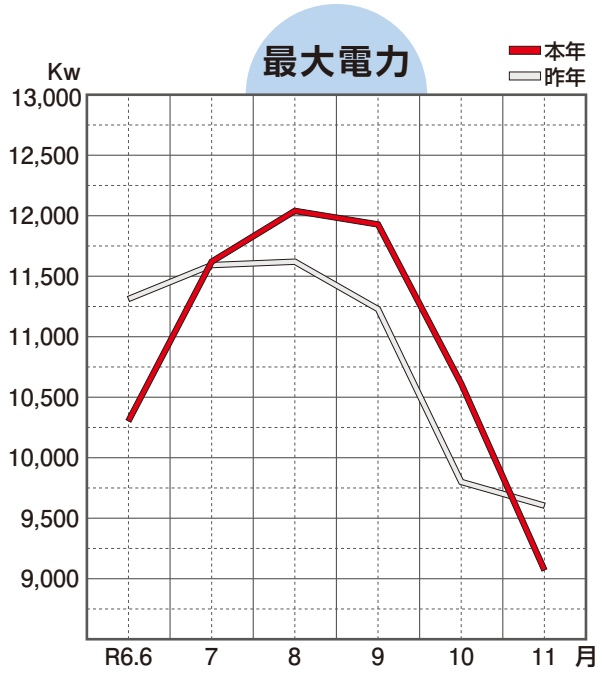
私の休日

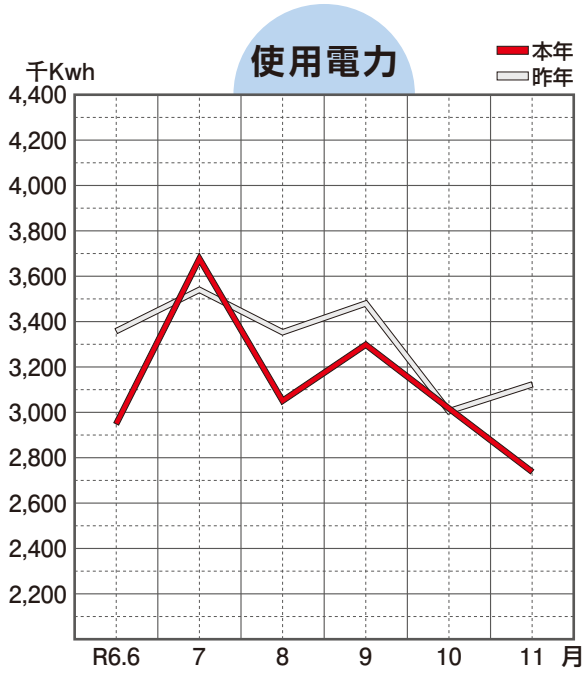
長い間入院していた為に足腰が弱くなり歩く事が出来なくなりました。病院のリハビリに通って歩く練習をしています。ツエなしで歩くにはまだ時間がかかりますが一日も早く歩ける様に毎日練習を行っております。

(株)日伸歯車工業
鬼頭作夫

お知らせ

令和6年11月分電力使用状況





電気は正しく使いましょう!!

再エネ賦課金は第二の税金？

電力会社からの電気料金明細書に小さく「再エネ賦課金」と書いてあるのをご存じでしょうか？再エネ賦課金は毎年度経済産業大臣が決めており、一般的な世帯では、一か月 1,396 円、年間 16,752 円負担しております。残念ながらこの再エネ賦課金は年々上がり続けており、家計や企業経営を圧迫しております。（2012 年→0.22 円 /KWh　　2024 年→3.49 円 /KWh）

再エネ賦課金（再生可能エネルギー促進賦課金）とは福島原発事故を受け、原発の代わりとなるエネルギーの確保、促進のため 2012 年に当時民主党政権によって導入されました。

電力会社には再生可能エネルギーで発電した電気を一定期間（20 年）国が決めた価格で買うことが約束されています。その原資として我々の賦課金が使用されているのです。

昨今、燃料費の高騰に伴い電気代が高くなっており、家計や企業支出の大きな負担になっていることや、多くのあやしげな業者が参入し、政治家を巻き込んだ汚職の温床となっていることも事実です。

そういった声を受け一部では再エネ賦課金の廃止、一時停止を求める声があがっており、今後の動向に注目していかなければなりません。（私見含む）

1. 再エネ発電事業者が再エネで発電した余剰電力を電力会社に売る
2. 電力会社は再エネ賦課金を含めた金額で電気を買う
3. 電力会社は一般送電網を介して家庭や企業などに電気を提供
4. 利用者は電気利用料に応じて再エネ賦課金を含んだ金額を電力会社に支払う
5. 利用者からの再エネ賦課金を取りまとめた電力会社が、国に再エネ賦課金を納付
6. 国は電力会社へ交付金（再エネ買取に要した費用）を支払う

したがって、再エネによる発電量が増えるほど、必要となる再エネ賦課金も増える仕組みです。

行 事 予 定

2024 12 December

16	月	月例会（12：00 ～） 役員会（13：30 ～）
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	青年部忘年会 団地G・忘年会 『組合休日』
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	『組合休日』
29	日	『組合休日』
30	月	『組合休日』
31	火	『組合休日』

2025 1 January

1	水	『元日』 『組合休日』
2	木	『組合休日』
3	金	『組合休日』
4	土	『組合休日』
5	日	
6	月	令和７年新年互礼会（川崎岐阜協同組合）
7	火	令和７年南宮大社初詣・神事並びに新年互礼会（金属団地）
8	水	令和７年新年互礼会（各務原商工会議所）
9	木	
10	金	
11	土	『組合休日』
12	日	
13	月	『成人の日』 『組合休日』
14	火	
15	水	

■ １月の行事予定

１月26日日　ボウリング大会

■ １１月度金属団地ゴルフ会

11月23日土　関ヶ原カントリークラブ

優勝　鳥山 仁（共和鋳造所）　２位　森田吉久（テクノ共栄）　３位　山村容弘（山村製作所）

G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

http://www.g-mecca.jp